

「茎数急増かつ葉色濃い！」ただちに中干しを開始しましょう！！

1 現在の生育状況（6月11日調査）

(1) コシヒカリの生育状況は目標に比べて、

草丈「やや短」、茎数「やや多」、葉数「並」、葉色「濃い」。

(2) 6月上旬の高気温及び第1半旬の多日照で、前回調査（5/30）から茎数が急増した。

表 生育調査結果

品 種		草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD 値)
コシヒカリ (調査点数9)	本年値平均	31	269	7.6	40.2
	目標比・差	98%	111%	+0.3	+2.4
	平年比・差	101%	109%	+0.2	+3.1
こしいぶき (調査点数3)	本年値平均	27	342	8.1	46.4
	目標比・差	98%	122%	+0.8	+6.4
	平年比・差	101%	125%	+0.4	+5.4
新之助 (調査点数3)	本年値平均	29	222	7.1	40.6
	目標比・差	104%	97%	-0.4	+2.6
	前年比・差	107%	157%	+0.2	+7.3

2 今後の天気（6月9日～7月8日：新潟地方気象台発表）

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう（新潟県の梅雨入り6/10）

- ・気 温：低い確率40%、平年並みの確率30%、高い確率30%
- ・降 水 量：少ない確率30%、平年並みの確率40%、多い確率30%
- ・日照時間：少ない確率30%、平年並みの確率30%、多い確率40%

3 今後の栽培管理

(1) 中干し・溝切りの実施

ア 田植後1カ月が経過した場合は、生育が遅れていてもただちに中干しを開始する。

イ 5月中旬以降に田植した場合は、茎数を確認し、めやすの茎数（「コシヒカリ」：280本/m²、「こしいぶき」及び「新之助」：320本/m²）になったら中干しを開始し、茎数が少なくても田植1カ月後までに中干しを開始する。

ウ 中干しの効果を高め、後半の水管理を容易にするため、溝切りも必ず実施する。

(2) 病害虫対策

ア 補植苗はいもち病の発生源となるので、ただちに撤去する。

イ カメムシ類の多発生が懸念されるので、農道や畦畔の草刈りを徹底する。

4 新之助の管理（新之助研究会の方へ）

(1) 茎数が増えやすい品種なので、中干し・溝切りが遅れないように注意する。

(2) いもち病の育苗箱施用剤を使用していない場合は、ただちに予防粒剤を施用する。

メールマガジン登録募集中！ngt112130@pref.niigata.lg.jp までご連絡を！

※件名に「作物技術情報メルマガ登録希望」、本文に「お名前」と「住所」をご記入ください。